

令和7年度 山之口小学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立山之口小学校		校長名	大野 聡彦	
学級数	11学級	児童生徒数	225名	職員数	24名
教育目標	心豊かで創造的な、心身ともにたくましい児童の育成				

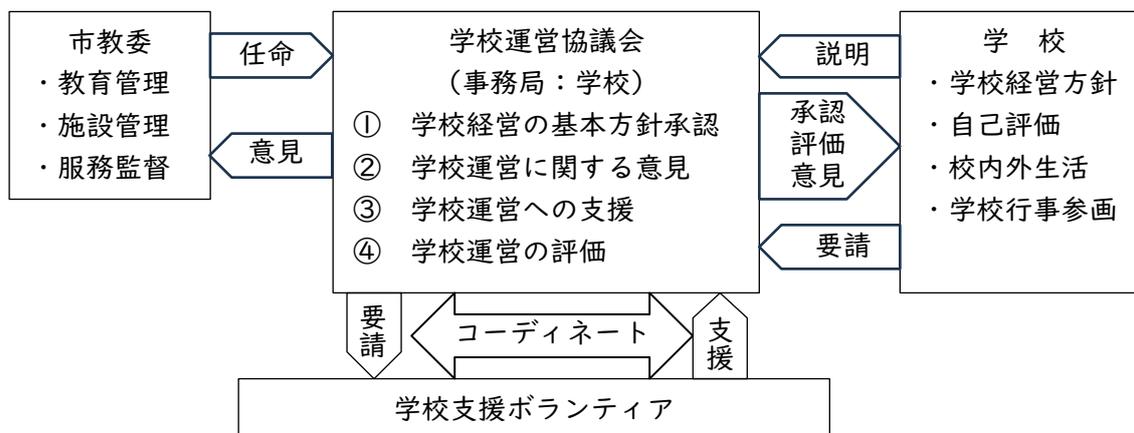
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員（計8名）・事務局（計3名）

学校運営協議会委員	No.	所属名（役職）	氏名	備考
	1	子育て応援あそび隊隊長	中園 愛樹	委員長
	2	山之口地区主任児童委員	下西 礼子	
	3	花木地域公民館長	有川 俊一郎	
	4	青井岳地域公民館長	三原 信一	
	5	下富吉地域公民館長	岡元 孝一	
	6	青井岳の森ふれあい交流会事務局長	川内 賢幸	
	7	すくすく第2児童クラブ代表	日高 みずえ	
	8	山之口小学校 PTA 会長	堀口 大輔	

事務局	役職	氏名
	校長	大野 聡彦
	教頭	原田 勝哉
	主任主事	黒田 美沙

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
5月29日	○ 第1回学校運営協議会（委嘱状交付、役員選出、協議会趣旨確認、年間活動計画確認、学校経営方針説明、授業参観）
7月25日	○ 第2回学校運営協議会〔山之口地区小中学校4校合同で実施〕 ① 合同協議：各校危険箇所マップなどの改善点、追加・削除事項、感想について ② 学校別協議 ・学校分収林基金 ・地域と学校の未来創造ミーティング ・意見交換、情報交換
12月3日	○ 第3回学校運営協議会（授業参観、本年度の教育活動、学校評価について）
1月15日	○ 第4回学校運営協議会（授業参観、学校評価報告書案意見交換）
2月18日	○ 第5回学校運営協議会（授業参観、学校評価報告書の審議、今後の行事予定、令和8年度の委員について、意見交換）

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

（7）月：「安全マップを基にした、学校・家庭・地域の役割分担について」

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

- 登校時の児童の見守り、朝の読み聞かせボランティア、5年生の米作り、2年生のサツマイモ栽培活動、5・6年生の伝統芸能「奴踊り」、6年生の薩摩古道遠足等、様々な教育活動において、手厚い協力を得たり指導をしてもらったりした。



【5月：サツマイモ苗植え】



【6月：もち米苗植え】



【9月：向原奴踊りの練習】

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

- 地域の人材の支援を得る機会を生かし、地域のよさを学ぶだけでなく、地域のニーズを意識した活動に取り組むという観点から、本年度も青井岳の森ふれ合い交流実行委員会の方の支援をいただき、6年生の薩摩古道遠足を行った。

(3) 地域貢献活動

- 学校と地域との「Win-Win」の関係構築を目指し、「生きがいふれあいフェスタ『山之口』」主催の作品展示に代表児童の作品を出品したり、山之口駅七夕短冊飾り（地区厚生保護女性会主催）に全校児童が短冊を出品したりするなどの地域貢献活動を位置付けている。
- 学校運営協議会委員もメンバーに入っている山之口まちづくり協議会から依頼を受け、山之口ふれあいフェスタに6年児童12名が参加、「向原奴踊り」を披露した。また、山之口どんどんまつり2025（山之口町イベント実行委員会主催）にも、6年児童10名が参加、「向原奴踊り」を披露した。学校便りや学校のホームページで紹介することで、保護者や地域の方に活動の様子を知ってもらい、児童も住民の一人として地域に貢献できるという自己有用感が高まり、今後の地域貢献活動への意欲付けとなった。

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 年度初めに計画した5回の協議会や児童が参加する学校行事、地域での行事を全て実施することができた。
- 学校評価をしていく中で、児童の様子や教職員の取組について様々な視点から意見をいただき、より視野を広めることができた。
- この数年、内容によっては10年近く、学習支援を中心とした人材（ボランティア）がほぼ変わっていない。
- 計画・実践を図る上でのコーディネーター的な立場の方の確保が必要である。

7 次年度の方向性

- 学校運営協議会の目的・仕組み・具体的な活動等について、教職員や保護者、児童、地域への周知を図るため、学校HPや学校便りの充実を図っていく。
- 地域とのよりよい連携・協働の在り方について協議を深めていく。